


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	シオンの園の経営理念・処遇モットーを基本とし、水ヶ江独自の基本方針を立てています。また、事業所のISO取得に伴い品質目標を立てています。	○ 毎年見直しを行います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	シオンの園の経営理念・処遇モットーを基本とし、水ヶ江独自の基本方針、品質目標を立て実践に向けて取り組んでいる。	○ 今年度の品質目標は「安全な生活の提供」で、転倒をなくす取り組みを実践中です。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	運営推進会議やカンファレンス会議、出張介護講座により理解を深めていただけるよう取り組んでいます。又、シオンの園基本方針は玄関に掲示しています。	○ 今後も出張介護講座の機会に、地域の方々への理解を深めていただけるよう取り組みたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	隣近所の方々とは気軽に挨拶を交わし、近隣の店で日常的に買い物を行っている。	○ 今後も挨拶は欠かさず行き、買い物は近隣の店で行っていく。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	年数回、近くの保育園との交流を行っている。	○ 今後も積極的に地域の方々との交流を図りたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人全体では夏祭りの開催、地域での出張介護講座等を行っておりますが、日々の業務の中では、地域に貢献できることがないかの話し合いは、特に行っていません。	○	今後、少しでも地域に貢献できるよう検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	部会等、機会あるごとに外部評価の意義について話をしております。改善点についても職員全員で話し合い改善に向けて取り組んでいます。	○	今後も職員全員で取り組んでいきたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催中。行事報告・予定、ホーム内での出来事等を報告しています。御家族様、民生員さまのご意見や質問、ホーム側からの提案等について話し合い、サービスの向上に活かすよう努力しています。	○	今後も、御家族様、民生員様より率直な意見をもらい、それをサービスの向上に活かしていくよう意義のある会議の場として行きたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者との情報交換の機会を持ち、運営推進会議の中での議題に対し資料提供等の協力をいただいています。	○	今後も市町村担当者の方々と情報交換を密にしサービスの質の向上に向けて取り組みたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、必要な利用者様はおられません。パンフレット等の回覧で知識を得る程度です。	○	来年1月に「高齢者の権利擁護」についての研修会が開催される予定です。積極的に参加し知識を高めたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	パンフレットの回覧、研修会等への積極的な参加を行い学ぶ機会を持っています。また、入浴時等に全身の状態を確認しています。	○	今年度は8月31日に「リスクマネジメント・身体拘束について」の園内研修会に参加しました。今後も研修会等には積極的に参加したいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には利用契約書・重要事項説明書により十分な説明を行う。また、退去時は話し合いの場を設けご理解、ご納得をいただけるよう対応しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、十分な説明を行いご理解、ご納得していただいた上で、契約、解除を行って行きたいと思います。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時等に、利用者様が御家族に話されそれを御家族様が運営推進会議時に伝えられる。</p>	<p>○</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に個人に応じた報告を行っており、緊急を要するときは電話で報告を行っている。また、季刊誌を発行して御家族へ送付しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も各個人に応じた報告をおこなっていき、御家族様の要望や本音を伝えてもらえるよう努力していきたいと思います。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付箱を設置しております。また、口頭でのご意見等に関しては「苦情受付書」を作成し、早急に改善への取り組みを行っています。法人全体では、オンブズマン委員会を発足させ外部者へ表せる機会を設けています。</p>	<p>○</p> <p>今後も御家族の意見・不満・苦情については早急に対処していきたいと思います。また、外部者へ表せる機会については協議していきたいと思います。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>部会等で活発な意見・提案を基に上申しています。また、日々の業務の中で意見等も反映できるよう努力しています。</p>	<p>○</p> <p>法人全体では「提案制度」を設けており、さまざまな提案について反映されています。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>毎日の勤務体制は勤務表に基づいて行いますが、状況の変化等については、その都度調整に努めています。</p>	<p>○</p> <p>利用者の状況の変化や家族の要望に柔軟に対応できるよう、職員と話し合いながら調整に努めていきたいと思います。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>人事異動については十分に検討し、馴染みの関係を築いた職員の移動を出来るだけ最小限に留めるように配慮を行っている。代わる場合においても、経験のある職員を配置するように努力している。</p>	<p>○</p> <p>今後も馴染みの関係を築いた職員の異動に際しては十分な配慮を行なっていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	園内外の研修参加の機会を設け、研修後は他職員へ、その知識・技術を確実に伝達してより良いサービス提供が行なえるように努めていく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	研修会等を通じて、同業者との交流を深め、相互訪問等も今後行なっていけるように努力していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○	職員が要望や相談を気軽に行なえるように、職員間の交流の機会を設け、話しやすい雰囲気を作っていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○	職員各自が向上心を持って知識、技術の習得が行なえるように今後も評価内容等検討しながら行なっていきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	担当ケアマネから引き継ぐ際には十分な連絡調整を今後も続けていきたいと思っています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○	担当ケアマネから引き継ぐ際には十分な連絡調整を今後も続けていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネにて十分配慮されています。	○	今後も十分な対応を心がけていきたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人、御家族共事前にホームの見学をされ、ホームの雰囲気や暮らしぶりを感じ取っていただいています。	○	ご本人や御家族の意向に沿えるよう努力していきたいと思います。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物たたみや食器拭き等と一緒にいたり、新聞提供や食事の時間には会話の中で、ご利用者様から昔の習慣を引き出す努力をしています。	○	今後ご利用者様と一緒に過ごし喜怒哀楽を共にできるような関係作りに努めていきたいと思います。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会や運営推進会議を通し、一緒に本人様を支えていく関係を築いていけるよう努力しています。	○	今後もより良い関係となるよう努力していきます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時、カンファレンスにおいて相互のより良い関係が保たれるよう努めています。	○	今後も良い関係が築けるよう支援していきたいと思います。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の親戚の方、近隣の方の面会時はゆっくり過ごしていただけるよう配慮しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を職員全員が共有し、利用者様一人一人の個性を大切にしながら席順の配慮やトラブルになる前の早めの対応等を心がけている。	○	今後も利用者様の個性を大切にしながら相互の関係が良い方向へいくよう支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	法人全体の取り組みの中で行っています。	○	今後も継続的な関わりを持って行きたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスや毎日の生活の中で、ご本人の希望や要望を把握する努力をしています。職員全員が利用者様主体であることを忘れずに取り組んでいます。	○	今後も職員全員がご利用者様一人ひとりに関心を持ち、ご利用者様の思いや暮らし方の希望の把握に努めます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時や面会時の会話を通じて生活歴やこれまでの経過等の把握に努めています。	○	今後も面会時の会話等を通じて生活歴等を充分把握できるよう努めていきたいと思っています
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員全員がご利用者様一人ひとりの現状を総合的に把握できるよう職員間の連絡を密に行っています。また、毎月一回の部会で話し合いを行っています。	○	今後も随時状況の把握に努めていきたいと思っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	半年に一度のケアカンファレンスにはご家族にも参加していただき、意見や要望等を反映した計画書作成に努めています。	○	今後は、本人様の参加も検討していきたいと思っています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じてカンファレンスを行い見直している。状態の変化が生じた場合は、その都度話し合いを行い現状に即した計画作成を行っています。	○	今後も努力し継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個別のケース記録に記載。介護計画見直し時はケース記録も参考にして話し合いを行っている。	○	今後も努力し継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族のその時々々の要望に応じ、対応できることについては臨機応変に対応しております。	○	今後も柔軟に対応していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア訪問や民生委員さんの訪問はありますが、地域資源と協力しながら支援しているとはいえない。	○	本人の意向や必要性に応じて、その都度対応していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は特に行っておりません。	○	必要な場合には地域のケアマネジャーと協力し、他サービスの利用がスムーズに行えるようにしていきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月に1回の運営推進会議に参加していただき、ご意見等をいただいておりますが、現在のところ協働でのマネジメントは等を行っておりません。	○	必要な場合には協働で行っていただけるように関係作りを行った生きたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による毎月一回の往診を実施しております。入居時にご家族の希望があれば、協力医へ主治医を変更しておりますが、以前からの主治医にかかられているご利用者様に関しては、ご家族を通じて情報交換に努めている。	○	今後も医療機関との連携を図りながら対応していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人全体の協力医には、いつでも利用者様は受診できるよう整っている。	○	今後も医療機関との連携を図りながら対応していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	非常勤職員として看護師を配置しており、日常の健康管理や医療的な支援を行っている。	○	今後も看護師を配置し健康管理に努めていきたいと思えます。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時には定期的に病状伺いを行い、病院関係者との情報交換に努めている。	○	今後も早期に退院できるよう、医療機関との情報交換に努めていきたいと思えます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針及び看取り関する指針を定めご家族へ説明しています。また、その時々で話し合いご家族の意向を確認しています。	○	今後もその時々でご家族、医療機関と話し合い方針を共有していくように努めていきたいと思えます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについては積極的に研修に参加し、部会等を通じ介護職員として何が必要か等の情報の共有に努めています。	○	今後もターミナルケアや重度化になった場合の対応を職員全員で話し合いながら、ご利用者様が安心して生活できる場を提供していきたいと思えます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームから別の居所へ移り住む場合は関係者、ご家族と十分に話し合い、環境に対する配慮を行っています。	○	今後も十分な協議を重ね対応していきたいと思えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「個人情報保護に関する基本方針」を基に対応しご利用者様の記録に関しては同意書をいただいています。また、個人の尊厳を重視した対応を心掛けています。	○ 今後もプライバシーに配慮し個人の尊厳を重視した対応を行っていききたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思を尊重し、自己決定が図れるような対応を心がけています。	○ 今後も継続していききたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にご利用者様主体の生活を心がけ、ご利用者様の立場に立った支援が出来るよう努力しています。また、その時々状況に応じた柔軟な対応を心がけています。	○ 今後も継続していききたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身嗜みやおしゃれもご本人の意思を尊重して対応しています。理美容については、希望される方はご本人の希望の店に出掛けています。	○ 今後も継続していききたいと思います。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	無理強いはずせざる出来る方には野菜の皮剥き、配膳、配茶、下膳、食器拭き等を職員と一緒にしています。また、好みの食材を把握し献立に取り入れています。	○ 今後も継続していききたいと思います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様の好みの物を把握し、水分提供時やおやつ時には個々の好みに応じたものを提供しています。	○ 今後も継続していききたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者様個人の排泄パターンを把握しながら、日の時々状況に応じた支援に努めています。	○	今後も継続していきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在、二日に一度の入浴を実施していますが、本人様の希望により柔軟に対応しています。時間帯は極力希望に添って入浴していただけるよう努力しています。	○	今後も希望に添えるよう努力していきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は和室を利用し、ご利用者様のその時々状況や希望に応じて気持ちよく静養できるよう支援しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者様一人一人の生活歴や楽しみごとを把握し、各個人に合った役割りやアクティビティーの支援に取り組んでいます。	○	今後も継続していきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様の希望とあわせ、御家族の希望及び個人の力量に応じた支援をおこなっています。	○	今後も継続していきたいと思います。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の状況に応じ、ドライブや買い物に外出します。また、個人の希望により随時外出支援ができるよう努力しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎年、法人内でのご利用者様一泊旅行を実施中です。また、誕生日のプレゼントを買いに担当者と一緒にショッピングセンターへ出掛けることもあります。	○	今後も努力していきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様自らが事務所で電話をかけられるよう配慮しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	馴染みの方々の訪問の際は、湯茶を提供し状況に応じて居室で過ごしていただけるよう配慮しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束0さが宣言」を基に職員全員が認識しており実践しています。	○	今後も継続していきたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯のみ施錠しています。居室も鍵は使用していません。	○	今後も継続していきたいと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はリビングに見守りの職員を配置し、利用者様の様子を把握しています。夜間帯においては定時の巡回時に安否確認を行っています。	○	今後もご利用者様の安全には十分配慮しながら対応していきたいと思います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目の届く範囲で手洗い用の液体石鹸や歯磨き粉等は常備しており、危険な利用の可能性がないか常に気に留めています。	○	今後も物品の保管については十分に配慮し危険防止に努めていきたいと思います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修会等に積極的に参加し、職員の知識、技術の向上に努めています。また、ヒヤリハット報告書や事故報告書を基に職員全員で話し合い再発防止に努めています。	○	今後も常に努力し継続していきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルを作成し職員全員に周知徹底を行っています。また、毎年救急法の講習会に参加しています。	○	今後も講習会へ参加し応急手当や初期対応の訓練を継続していきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災報知器・消火器を設置。消防計画を作成し定期的に消防避難訓練を実施しております。また、地域の人々の協力を得られるよう消防団への働きかけをしています。	○	今後も定期的に避難訓練を実施していきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族の面会時等に、利用者様が抑圧感のない暮らしを続けるために起こり得るリスクについて、繰り返し説明、話し合いを行っています。	○	今後も十分に話し合いを行っていききたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康管理表を基に状態把握に努め、情報の共有化を図っております。場合によってはかかりつけ医、ご家族へ連絡を行い早急な対応を心掛けています。	○	今後も健康状態の把握に努め、体調の変化や異常の早期発見、対応に繋げていきたいと思います。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を保管し、直ぐ確認がとれるように対応しています。内服薬の変更の場合は連絡ノートに記載し職員へ周知徹底を図っております。	○	今後も継続していきたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、乳製品を食事や水分提供時に取り入れています。また、食物繊維の多い食材を使用するよう心掛けています。毎日、体操を実施し、出来る限り自然排便となるよう取り組んでいます。	○	今後も継続していきたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きの言葉掛け、必要に応じては個人に応じた支援を行っています。	○	今後も口腔内の清潔保持に努めていきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量、一日の水分摂取量を記録し随時対応しています。また、毎月法人の栄養士にメニューをチェックしてもらい栄養バランスのとれた食事の提供を心掛けています。その時々、個人に応じた食事形態の工夫をおこなっています。	○	今後も努力し継続していききたいと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを基に実践しています。また、保健所職員による「施設における感染症、食中毒予防」の研修に参加し知識の向上を図っています。	○	今後も実行し感染症予防に取り組んでいききたいと思います。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	こまめに買い物をし、新鮮で安全な食材の使用を心掛けています。調理器具は使用後食器乾燥機で対応しており、布巾類はハイター消毒を実施。台所は、毎日アルコール消毒を行っている。	○	今後も新鮮で安全な食材の使用に努め、衛生管理には充分配慮して対応していききたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を咲かせ家庭的な雰囲気になるよう心掛けています。	○	今後も気軽に出入りできるよう工夫していききたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な光が入る所はよしずを使用しています。リビングより外の景色が見にくいいため季節感を感じてもらえるよう季節に応じた生花等を飾っています。また、リビングとトイレが接近しているため消臭に心掛けています。	○	今後も居心地よく過ごせるよう工夫していききたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテーブル席やソファ、和室等好きなところで思い思いに過ごされています。	○	今後もゆっくり過ごしていただけるよう工夫していききたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物品や好みの身の回り品の持ち込みについて説明を行い、ご家族で準備していただいています。	○	今後もご家族への働きかけを行っていきたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビング、居室共に適宜換気を行っています。温湿度計をリビング、居室等に設置しこまめにチェックを行い、ご利用者様の意見を聞きながら冷暖房のこまめな調整を行っています。	○	今後も継続していきたいと思います。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関、リビング、廊下、トイレ、洗面所には手摺りを設置しています。	○	今後も継続して工夫いきたいと思います。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレと洗面所の入り口の間違いがあり、違う暖簾をかけました。	○	今後も継続して工夫いきたいと思います。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	二階ベランダは出入りが自由で、気候が良い時はティータイムや日光浴を行っています。	○	今後も継続していきたいと思います。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・今年度のグループホーム水ヶ江の品質目標を「安全な生活の提供」と掲げ、日中の転倒0件を目標に職員一同で取り組んでいます。利用者様の下肢筋力低下防止のため毎日ラジオ体操やリハビリ体操、リビング内の歩行を実施しております。また、体力保持のため栄養確保できるよう栄養管理に努めています。